



# 兵庫工業会 NEWS

2024年11月号

発行 / 公益社団法人 兵庫工業会

No.316



公益社団法人 兵庫工業会

理事 竹田 典高

(まねき食品株式会社)

## プラス思考の生き方

■ 巻頭言 ■

理事でまねき食品の社長を務めております竹田でございます。大先輩の皆様方がいらっしゃる中で、大変恐縮ではございますが、ご指名頂きましたので拙筆をご容赦ください。

最近、人々を陥れるようなネットの風潮が多く、何か嫌な悲しくなることがあります。子供達にもあまり見せたくないようなニュースも残念ながら多いです。もちろん何くそという悔しさから努力するハングリー精神や反省することはとても大事だと思いますが、コンプライアンスの行き着く所、追い詰められることに違和感があります。

食品に関してもルールは厳しくなるばかりで、表示をはじめとして間違いが許されないビジネスになっております。一方では、食品ロスを中心としたSDGsが話題となっています。行き着く先は、期限の短い食品加工を行う会社がいなくなるのではと危惧しております。

完璧からのマイナス思考で考える世の中において、もちろんルールは守りながら私としてはプラス思考で考えるようにしています。

日本のモノづくりは、やはりプラス思考に基づくチームワークが大事な気がします。私たちが製造しているお弁当や飲食では、連携がとても大事です。幕の内弁当では、天ぷらが抜けていると、天ぷらが揚がるまでお弁当は仕上がりません。麺が上がっていてもトッピングに時間が掛かってしまっただけで、せっかく絶妙なスピードで茹で上げた麺も伸びてしまいます。失敗を追及するのではなく、課題をヒントに誰かの発想を皆で押し上げ、磨いていくところが必要です。そして、チームメイトへの感謝。感謝することで、人生に艶が生まれ毎日が楽しくなると思っています。

もう一つ私が意識しているのが、物事の「目的」です。

「社長とはどのような仕事か」「なぜ、お客様は弊社店舗に足を運んでいただくか」「なぜ、お客様は弁当や駅弁を選ぶのか」「中小企業として社会に発信できることはないか」「若手社長として、地域に果たすべき役割は」

目的を意識することで本質が見えてきて、自分はどのようなことをすべきか、心から気合が入ることもあるのではないのでしょうか。

チャレンジには失敗がつきものです。たとえ、失敗しても自分としては前向きに、そして、失敗の本質を見ようと心がけてきました。コロナ禍でも常に前を向いて来ました。

2025大阪関西万博も色々な意見があります。しかし、私は、来年の万博に対しても常に前を向いて取り組みたいと思っています。オリンピックで苦渋を飲んだ私たち日本人にとって、世界にPRする最大のチャンスではないのでしょうか。弊社は、未来型レストランと言い、万博のリングの中の「静けさの森」の近くに outlet します。スタッフ様はじめお弁当のご予約も積極的に受け付ける予定です。海外から万博に来られる方は約1週間滞在されると思います。京都や道頓堀に行かれる方、姫路城や瀬戸内、神戸、奈良にもたくさんの方がお越しです。その際に、万博で見た、あの会社が地域でそれぞれ輝いていると感じて、記憶に残る会社になりたいと思っています。万博後は、新工場を予定しています。万博でPRしたBENTO文化を最新の冷凍技術を使い、消費期限が1年に延びた美味しい冷凍商品、冷凍弁当、冷凍おせちを用いた輸出事業、フランチイズ事業を本格的に開始します。万博をきっかけに世界にプロモーションを行い、全従業員モチベーションを最大限に高めていこうと考えております。

私たちのような小さな会社が日本のモノづくりを語るのはおこがましいですが、モノづくりは日本の活力であり、日本人としての誇りではないのでしょうか。DX、AI、SDGs、様々なものやコンセプト、考えが、万博をキッカケにして人や知恵が出逢い日本のモノづくり力と繋がり、新たなイノベーションが起き、日本を再興する場となることを心から祈念しております。あくまでプラス思考の発想として。

# 第42回管理監督者研修ご報告

9月6日(金)～7日(土)に、37名の参加者を迎えて「第42回管理監督者研修」を実施いたしました。

開会式後、参加者はリーダー・係長クラスと管理職クラスに分かれ、それぞれのカリキュラムや実習に取り組みました。

リーダー・係長クラスでは、従来のPDCAの基本に加え、リーダーの役割とリーダーシップに必要な力を理解することから始め、チームワークの醸成やコミュニケーション、目標設定について演習を通じて学びました。

管理職クラスでは、「あるべき管理職像」に基づき、ロジカルシンキングの基礎や部下の主体性を引き出すビジネスコーチングの講義と演習を実施しました。参加者は自己分析を通じて管理職に求められる力を確認し、今後の課題設定を行った上で、行動目標を立てました。今後は進捗報告を提出し、設定した課題に取り組むこととなります。

2日目のカリキュラムでは、「労務管理の基礎知識」として労働時間規制やメンタル不調者に対する管理職・リーダーの役割、安全配慮義務についての講義が行われました。

両クラスとも活発なディスカッションが行われ、夕食時の情報交換も含め、有意義な異業種交流の場となりました。参加者からは「実践的な内容で非常に役立った」との声が多く寄せられました。

今後も継続的に研修を充実させ、多くの方々にご参加いただけるよう努めてまいります。

※来年度は2025年9月12日(金)～13日(土)に開催予定です。



宮協会長による開会挨拶



リーダー・係長クラス講義風景



管理職クラス講義風景



管理職クラスにおける受講生発表



# 2024年度会員交流見学会ご報告

会員交流見学会は、見聞を広め会員相互の交流を深めることを目的として、毎年実施しております。今年は「北海道の歴史と産業を知る」をテーマに、10月2日(水)～3日(木)の1泊2日で、参加者22名にてエスコンフィールドスタジアム、KUBOTA AGRI FRONT、小樽堺町歴史的建造物、ホクレンパールライスを見学、あわせて交流懇親会を開催し、大いに交流を深めました。

## ☆エスコンフィールドスタジアム

プロ野球「北海道日本ハムファイターズ」の本拠地であるエスコンフィールドスタジアムツアーでは、普段は見られないスタジアムの裏側を見学しました。グラウンドやダグアウト（ベンチ）、プレスルームなど、選手たちが実際に使用する場所を間近で見学できたことはとても貴重な経験でした。ファイターズガールが務めるガイドの詳しい説明を通じて、球場の設計や設備の工夫、試合の裏での準備などを知り、スポーツイベントの舞台裏への理解が深まりました。

従来の野球場のイメージをくつがえす“ボールパーク”の素晴らしさに感動し、野球ファン以外の方でも楽しめる充実したツアーでした。



ダグアウトでの記念写真

## ☆KUBOTA AGRI FRONT

KUBOTA AGRI FRONTでは、AGRI QUESTコースを体験しました。現在農業がおかれている状況や植物工場の最新技術に触れ、未来の農業の姿を学びました。特に農業経営ゲームでは、チーム対抗で作物の選定やコスト管理をシミュレーションし、経営判断の難しさと面白さを実感。ガイドの説明を通じて、効率的で持続可能な農業の重要性を学び、農業経営に対する新たな視点を得る貴重な体験となりました。



農業経営ゲーム体験風景

## ☆小樽堺町

小樽堺町の歴史的建造物見学では、明治・大正時代の繁栄を感じる街並みに魅了されました。小樽は北海道の物流拠点として石炭やニシンの取引で発展し、その経済的繁栄が現在も残る石造りの倉庫群や商家に反映されています。ガイドの解説で、当時の商業活動や小樽港の重要性を学び、歴史的背景に深く感銘を受けました。歴史と文化が融合するこの町で、豊かな過去を体感する貴重な機会でした。



小樽堺町での見学風景

## ☆ホクレンパールライス

ホクレンパールライスでは、お米がどのように精米され、パッケージされるかを詳しく学びました。最新の技術を駆使した設備や衛生管理の徹底ぶりに感心。特に、お米の品質を守るための細やかな工程が印象的でした。見学を通じて、おいしいお米が私たちの食卓に届くまでの裏側を知り、日々の食の大切さを再認識しました。



ホクレンパールライスでの見学風景



## 阿比野建設株式会社

本社所在地：〒671-1116 兵庫県姫路市広畑区正門通四丁目3番地3  
TEL：079-236-3555(代)／FAX：079-237-0105  
URL：https://www.abino.co.jp/index.html  
代表取締役会長 阿比野 剛



当社は1955年（昭和30年）に、当時の富士製鐵株式会社広畑製鐵所（現在の日本製鐵株式会社瀬戸内製鐵所広畑地区）の協力会社として土木工事請負業で創業し、1958年（昭和33年）、阿比野建設株式会社を設立しました。以来、日本製鐵構内の土木建築工事を皮切りに、官公庁並びに民間の土木建築工事、不動産開発など、総合建設業として業容を拡げて参りました。昨年2023年に、創立65周年を迎えたのを機に、“2030年に向けて”と題して「ABINOVISION」を策定しています。その一つに“社会の要請である省エネルギー化に貢献するオンリーワン技術のトップランナーを目指そう”というビジョンがあります。

本誌では、当社のオンリーワン建築工法である「NSスーパーフレーム工法」（以下NSSF工法）を紹介させていただきます。NSSF工法は、1995年の阪神淡路大震災を契機に、日本製鐵が開発した工法で、建築基準法上では、鉄骨造の一種である薄板軽量形鋼造に分類されます。これまで技術開発が進み、現在では、4階建までの集合住宅や高齢者施設、3階建までの事務所や研修所、構造区画面積1,000㎡までの平屋店舗や学校、保育園など様々な用途の建築物でご活用頂いています。

NSSF工法には耐震性、耐久性、耐火性、遮音性など様々な優位性がありますが、中でも、省エネ性能について、他の工法と比較しても優れた性能を発揮しています。NSSF工法は鉄の躯体を断熱材ですっぽりと覆う外張り断熱通気工法を標準採用しており、少ないエアコン稼働量でも、冬暖かく夏は涼しい快適な住空間を実現できます。この画期的な省エネルギー性能により、カーボンニュートラルに向けて、建築物にも“改正建築物省エネ法”が施行されていますが、改正省エネ法に適合した、ZEH-M（ゼッチ・マンション）適合集合住宅やZEB（ゼブ）適合事務所などを低コストで実現しています。加えて、躯体を構成する鉄は、高性能メッキ（日本製鐵製スーパーダイマ）を施した厚さ2.3mm未満の薄板形鋼を使用しており、躯体が軽量となることも大きなメリットです。建物自体が軽量となる事で、軟弱地盤の土地においても、杭工事が不要となったり、基礎自体のサイズダウンなどの構造設計が可能で、短工期、コストダウンを実現できています。更に、NSSF工法は、鉄筋コンクリート造や鉄骨造と比較して、固定資産税評価額が低く設定され、減価償却年数も短く設定されているのも、建築主に喜ばれている優位性です。これは、“鉄の厚み”によって定められており、結果的に固定資産税や法人税が他工法と比較して、圧倒的に節税となり、インシヤルコストのみならず、高気密高断熱による光熱費などを含めたライフサイクルコストにも優位性があります。

当社では、このNSSF工法の躯体となる、壁パネル、床（屋根）パネルを製作する工場を姫路では2007年より、大分においては2015年より認定を受け稼働しています。当工法が西日本で採用された際には、姫路又は大分で製作した躯体パネルを運搬し、現地で建方工事をお請けしています。当社は、このパネル製作建方請負業務を通して、様々な施工技術開発にも取り組んでいます。屋根を構成するユニットトラス（大スパン時に採用するトラス屋根パネルを、現地組立レスとするために工場で先組みするユニット）をNSハイパーツ社（日本製鐵が当工法の技術開発、事業開発を行うために設立した連結子会社）と共同開発し、採用が進んでいます。また、基礎と建物躯体を緊結させるホールダウン金物の精度を保つための“アンカーセット工法”を独自で開発し、実用新案登録を受けています。

NSSF工法の最近の実績は、大手生命保険会社が全国で進めている拠点事務所の建替えや200室の社員寮、大手製造業の社宅、社員寮などの案件が増加しています。また、ある県の公共工事では、看護学校の学生寮が、当初計画では鉄筋コンクリート造で約50mもの杭を打設する必要があり、コストが合わず計画が遅れていましたが、NSSF工法が採用され、杭に代わる地盤改良工法が可能となり、今、具体的に実施設計が進んでいます。また、大阪万博においては、コロンビアパビリオンで当工法が採用され、当社の姫路工場で作成したNSSFパネルを現地で建てさせて頂いております。

当社では、これからも「誠実を第一義とし、技術の研鑽に努力する」の経営理念の元に、総合建設業として、刻々と変化する外部環境に対応すべく、お客様に喜ばれ、ご活用頂けるよう取り組んで参ります。



# 産業振興委員会 青森SDGs研修会 報告

SDGs普及・推進事業を担当している産業振興委員会は、10月24日(木)～25日(金)の2日間、吉井委員長はじめ11名で青森SDGs研修会を実施致しました。

研修初日、富士電機津軽セミコンダクタ(株) (青森県工業会会長会社) を訪問致しました。再生可能エネルギー活用へのチャレンジ、地元の小学生から大学生までの人的繋がりを重視した長期スパンの採用活動、その他地域社会に貢献する活動などSDGsに関連した様々な内容を聞くことができました。また昨今、日本の半導体についての凋落ぶりが頻繁に報じられていますが、該社が製造しているパワー半導体の分野については世界との競争力が充分あることも勉強でき、モノづくりを生業としている我々にとっては力強く元気をもたらした訪問でもありました。



富士電機津軽セミコンダクタ(株)訪問

続いて世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の拠点である三内丸山遺跡を訪れました。同遺跡センター 保存活用課長より、環状配石墓、竪穴建物、大型掘建柱建物跡、年代に応じて形状が変化していく縄文土器など様々な縄文文明の遺跡、遺物の説明を受けました。一定規模の建造物、幅広な道、火を使用した文明の利器などの活用で定住集落が、所謂世界4大文明と呼ばれたものよりも古くから存在、平和裏に営まれていたことは正にサステナブルの本質が体感できた瞬間でした。



三内丸山遺跡見学

その後、青森県工業会の方々5名と意見交換会を実施。兵庫工業会は今年度から、将来的には中小ものづくり企業への就職に繋がればとの考えから工業高校の行脚事業を始めましたが、青森県工業会では小中学生の頃から接点をもっているとのことでした。また、SDGsを具体的に



青森県工業会との意見交換会



青森県工業会との懇親会

製造業が推進するとなると、結局カーボンニュートラルに行きつくとの考えでした。

二日目は同会々員企業である(株)竜飛精工 (プラスチック精密金型設計・製作・射出成型)、エクトム(株) (MIM・プラスチック金型 企画、設計、制作、量産) を訪問。CAD、CAMなどデジタル技術の導入、女性活躍、バリアフリー、勤務時間の配慮など一人一人に応じた職場環境づくり、



(株)竜飛精工訪問



エクトム(株)訪問

リサイクルによる新事業のことなど、地域の基盤づくり、環境についてのSDGsに関するお話を聞くことができました。

今回の研修を開催するに際し、(一社)青森県工業会、青森県大阪情報センターには多大なるご尽力を賜りました。

以上、収穫の多かった研修会となりました。今後は得られた知見を活かし産業振興委員会の事業企画を進めて参ります。

# 2024年度 くすのき会(若手経営者の会)ご報告

## 【6月例会“旭光電機(株)の見学会”のご報告】

6月例会では、キラリと光る技術を持つ兵庫県の中小企業を見学するという企画のもと、今回は旭光電機(株) 明石工場を訪問させていただきました。旭光電機(株)は日本で初めて自動ドア用コントローラを開発したという実績を持ち、センサ/コントローラの技術において国内トップクラスの技術力を誇る、まさにキラリと光る技術を持つ企業です。

例会では、和田社長から事業内容、近年の取組や開発事例などをご紹介いただき、その後工場内を見学させていただきました。工場内では、整理整頓が整った製造ラインや、データ収集・搬送ロボットなどIoTを積極的に活用された場面が多々あり、とても勉強になりました。また、開発現場ではオリジナル製品をご紹介いただき、開発担当の方が「世の中に役に立っている実感を味わう事が楽しみ」と自然とお話いただけことがとても印象に残りました。

旭光電機(株)は近年、長年取り組まれているセンサ/コントローラ関連の事業だけでなく、その事業で培った技術を元に生み出したAIやIoT分野の製品・サービス事業を年々拡大されています。その源泉は、技術者の和田社長のリーダーシップ・先見性はもとより、技術者視点のアイデアをまずはカタチにして、そこから改良を重ねて市場ニーズにあう製品をうみだす会社全体の姿勢や風土だと感じました。



企業見学の様子 (6月例会)

## 【7月例会“「労務の最新トピックス」の講演”のご報告】

7月例会では、社労士の黒木貞直氏(こうべみなと社労士オフィス 代表)を招き「WLBや年取の壁、労務の最新トピックス」をテーマにご講演いただきました。

松下幸之助氏の名言「企業は人なり」という言葉の通り、企業の成長には優秀な人材の採用・育成・定着が不可欠です。と、言葉でわかっているにも人に関する労務関連は、経営者にとっては常に悩みの種にもなります。特に、私たち若手経営者にとっては、昔ながらの労務の仕組みを今の時代にどうフィットさせていくかは、会社経営においてとても重要な課題です。

例会では、黒木氏より最新の労務関連トピックをご紹介いただいた後、メンバー各社の労務関連の取組を共有ディスカッションしました。特に話題に上がった男性育休に関しては、取得率や期間、育休期間中の業務分担、育休からの復帰方法など、各社様々な取組を行っており、非常に刺激あるディスカッションとなりました。また、男性育休とあわせて話題に上がった「介護」のための休業やサポートの仕組みは、各社まだまだ試行錯誤の段階で、今後より大きなトピックになる事を再認識いたしました。

今後も、このような会社経営に関する様々なテーマを、くすのき会メンバーでディスカッションしていければと思います。



ディスカッションの様子 (7月例会)

## 【分科会“音羽電機工業(株)／長谷川電機工業(株)の見学会”のご報告】

分科会では、くすのき会メンバー企業を知る事とOBとの交流を目的に、今回は音羽電機工業(株)／長谷川電機工業(株)を訪問させていただきました。

まず、長谷川電機工業(株)では製品紹介とその機能について詳しく説明を受けました。展示スペースでは、電圧測定器や絶縁抵抗計などの製品が並び、それぞれの用途や特徴について分かりやすく説明していただきました。特に、作業現場での安全性を確保するために開発された技術には驚かされました。こうした製品が、現場の安全管理にどれほど重要な役割を果たしているのを知り、技術の大切さを改めて感じる機会となりました。

続いて、音羽電機工業(株)の雷テクノロジーセンターでは、雷に関する最新の研究と対策技術を学びました。雷の発生原理や雷サージ対策装置の役割について、実際の装置を見ながら理解を深めることができました。特に、雷の模擬実験は迫力があり、雷が電子機器に及ぼす影響を目の当たりにする貴重な体験でした。また、施設内では、企業が環境への配慮や安全性向上のために取り組んでいる活動についても説明を受け、社会に対する責任感に感銘を受けました。

両社の見学を通じて、日常生活ではあまり意識しない「電気」と「雷」の関わりや、その安全性を守るための技術について深く理解できました。

(文責：くすのき会 (株)吉田製作所 吉田 武史)

くすのき会に興味をお持ちの方がおられましたら、随時体験入会を受け付けております。お気軽にご連絡ください。また、御知己の方で入会対象者がおられましたら、ご紹介賜りたくよろしくお願い申し上げます。



企業見学の様子 (分科会)



# 地域交流会ご報告

## (川崎重工業(株)明石工場見学・意見交換会・交流懇親会)

9月24日(火)に地域交流会を開催いたしました。今回は、入会をご検討いただいている企業の方に兵庫工業会の事業を体験していただくことを目的に、川崎重工業(株)明石工場の見学ならびに意見交換会・交流懇親会を、会員企業を含めた参加者13名で実施しました。

川崎重工業(株)明石工場の見学では、事業所の概要説明をいただいた後、2班に分かれてモーターサイクル車体製造工場およびロボット製造工場を見学させていただきました。普段見る機会の少ない組立ラインの詳細な説明に、参加者は熱心に耳を傾けていました。

工場見学後の意見交換会では、宮協会長の挨拶、第一熱研(株)中川社長による「兵庫工業会の魅力」に関するプレゼンテーションの後、3班に分かれて自社の課題などをテーマに意見交換を行いました。話題の中心は人材不足や人材育成で、各社の取り組みなど活発に情報交換されていました。

意見交換会後には、明石駅近くに場所を移して交流懇親会を開催し、盛況のうちに地域交流会を終了することができました。



意見交換会における宮協会長挨拶



工場見学記念写真

## 叙勲・褒章の栄

2024年度秋の叙勲・褒章が発表され、当工業会では次の方がその栄に浴されました。  
会員の皆様とともに、心からお祝申し上げます。

藍綬褒章	渡辺 真二 氏	早駒運輸株式会社 代表取締役社長
------	---------	------------------

## 新 会 員 紹 介

### 株式会社マエダマキン

代表者 代表取締役 前田 泰治  
所在地 〒678-0256  
兵庫県赤穂市天和1201-1  
TEL 0791-56-5253  
FAX 0791-56-5254  
URL <https://maedamarkin.com/>  
資本金 800万円  
従業員数 14名

#### ■営業品目

材質、大小を問わない機械加工全般  
発電機の部品加工

#### ■事業内容

当社は、発電用ガスタービンや発電機、LNGポンプ部品、煉瓦用金型、MRI装置部品など、様々な機械装置の金属部品を加工しています。積極的な設備投資に加え、独自の人の成長を促す様々な仕組みを取り入れ、日々金属加工の技術力を磨いています。播磨地域のお客様に継続的に貢献し、これまで以上に便利で必要な存在になるため、日々努力してまいります。

皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。



## 会員交流懇親会 “忘年パーティー” のご案内

今年も「会員交流懇親会 “忘年パーティー”」を開催いたします。  
是非、多くの皆様のお申込みをお待ち申し上げます。  
お申込みは右記QRコード、または兵庫工業会ホームページよりお願いいたします。

- ◆日 程：2024年12月6日(金) 16:00～19:00
- ◆場 所：神戸ポートピアホテル (神戸市中央区港島中町6-10-1)  
イベント 本館 地下1F 「偕楽」 懇親会 本館 30F 「GOCOCU」
- ◆参加費：12,000円/人



# 兵庫工業会ホームページに会員様の企業広告を掲載できます。



※広告をクリックするとHPへ移行いたします。

◆サイズ：縦：横 = 400px : 580px **JPEG形式として**  
容量 = Max 4MBまで

※アニメーション、ロールオーバー等画像が変化するものはご遠慮願います。  
※広告デザイン等につきましては、広告主様で作成をお願い致します。

◆掲載期間・料金： **1年 / 20,000円** (税別)

※掲載期間についてはホームページ掲載後1年とします。

◆詳細・お申し込みは右記QRコードまたはHPよりお願いいたします。



お申込  
・  
問合せ先

公益社団法人 兵庫工業会 事務局 (担当: 川井、宮岸)

〒650-0011 神戸市中央区下山手通 6-3-28 兵庫県中央労働センター3階  
TEL: 078-361-5667 FAX: 078-371-4336

## 冬期休業の お知らせ

本会では、誠に勝手ながら2024年12月28日(土)～2025年1月5日(日)まで、冬期休業といたします。(2025年1月6日(月)より通常業務) この間、何かとご不便ご迷惑をお掛け致しますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

## 会 員 動 向

### 代表者登録変更

企業名	新登録者	旧登録者	変更月
三菱電機(株) 神戸製作所	総務部長 脇坂 岳	新山 正幸	2024年10月
(株)オカデン	代表取締役社長 高谷 勇介	谷川 浩三	2024年10月
甲南設計工業(株)	代表取締役社長 山本 真由美	澤田 昌浩	2024年10月

## イベント情報

月日	事業名・内容	場所
11月28日(木)	ものづくり技術懇話会	・国立研究開発法人理化学研究所 計算科学研究センター ・Microsoft AI Co-Innovation Lab Kobe
12月6日(金)	会員交流懇親会	神戸ポートピアホテル
12月18日(水)	変革へのチャレンジセミナー	神戸市産業振興センター
12月26日(木)	職域における創意工夫者表彰式	兵庫県公館
2月26日(水)	合同委員会	有馬温泉 元湯 古泉閣
3月21日(金)	第3回理事会	ホテル日航姫路

公式SNSで情報発信中！

ぜひ、フォロー・ご登録ください！

Instagram →



兵庫工業会HP →



ご入会・セミナー・講演会・研修などのお問合せ・お申込みは…



公益社団法人  
兵庫工業会

本部  
神戸事務所

〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通6丁目3番28号 兵庫県中央労働センター3階  
TEL 078(361)5667 / FAX 078(371)4336 / Eメールアドレス mail@hyogo-ia.or.jp  
URL http://www.hyogo-ia.or.jp

姫路事務所

〒670-0962 姫路市南駅前町123 じばさんびる3階  
TEL 079(223)8230 / FAX 079(223)8231